

災害用語の中でよく耳にする言葉のなかに、「**自助**・**共助**・**公助**」があります。それぞれの意味は、次のとおりです。

自助…自分を自分で助けること(守ること)。

共助…家族、地域コミュニティで、ともに助け合うこと。

公助…行政などによる支援・援助のこと。

つまり、個人・家族・自治体などの地域コミュニティ・企業・町・県・国がそれぞれの立場で積極的に取り組んでいくことが大切だということです。

そして、いざ災害が起きたときには、次のように行動しましょう。

- ①まず自分の身の安全を確認する。(自助)
- ②家族や地域のお年寄りの方や、小さな子どもさんを助ける。(共助)
- ③役場や行政からの支援物資など受け取る。(公助)

みなさんまずは、自分の身は自分で守り、いざというときの助け合いのために防災についての家族会議や自治会での防災会議を行うなど、自分自身の生活に少しずつ「防災」を取り入れていけるといいですね。



防災訓練の翌週、9月10日(日)には、消防団の合同夏季訓練が実施されました。

消防団員の防災知識・消防技術の向上と、士気の高揚を図り、これからの消防活動に役立てることを目的としています。

今回の訓練では、地震発生後の状況を想定した内容で行われ、6分団からおよそ180名の消防団員が参加しました。

例年とは違った試みとして、より本格的・実戦的な訓練を行いました。

- ①消防車の前に横たわる丸太をトビ(かぎ爪型の金具の付いた道具)を使って撤去。
- ②倒壊した家屋の中に閉じ込められた要救助者を救出し、担架で運び、心肺蘇生法・AEDにより救命処置を実施。
- ③プールから給水を行い、2カ所の出火場所(火点)を鎮火する。

参加した消防団員は、「実際起こりうる状況に対応した訓練だったと思う。とても有意義でした」と感想を話していました。

町では、このようにみなさんの安全を守るための取り組みが行われています。

想定外のことが起こるのが災害。

ぜひご家庭でも「もしも」を想像して話し合い、明日起こるかもしれない災害に備えてください。



お問い合わせ

役場 防災安全室

☎ 43-2111

(内線 2231・2232)